

議員の通称(旧姓)使用の取扱いの現状

- 国会議員については、参議院においては、平成9年6月9日の議院運営委員会理事会（第140回国会）において使用を認める旨の決定があり、これを先例として同年9月の第141回国会から通称(旧姓)使用が認められている。衆議院においては、それ以前から認められているが、特段明文の規定はない。
- 地方議員については、要綱等で認めている事例があるが取扱いは各議会によって異なっている。

<国会の例>

参議院先例録（抄）（平成25年版）

第七章 議員

第一節 応召、当選証書の対照、入場及び紹介

九八 議員の氏名は、原則として本名を用いる

議員の氏名は、本名を用いることとするが、議長の許可により、その任期中、本名に代えて通称を使用することができる。

なお、婚姻により氏を改めた議員が引き続き婚姻前の氏を通称として使用することを議長が許可したことがある。

（注）議員の氏名は、従来、本名を用いることとしていたが、第百四十回国会平成九年六月九日の議院運営委員会理事会において、次の旨の決定があり、同年九月二十九日に召集された第百四十一回国会から議員の通称使用が認められた。

一 議員氏名

議員氏名は、従来どおり、内閣総理大臣からの当選人報告に基づき、これと当選証書記載の氏名を対照したもの（以下「本名」という。）を用いるのを原則とする。ただし、通称を議員氏名として使用したい議員は、当選証書の対照後、通称使用の許可を申請することができる。

二 通称の範囲

通称とは、公職選挙法制度上の通称（公職選挙法施行令第八十八条の五第七項、第八十九条第五項）とする。通称の使用が許可された場合には、以降任期中、通称使用の例外（叙位・叙勲の申請等、専ら院外で使用をするもの又は通称の使用によっては実務上混乱が生じるおそれのあるもの）を除いて、通称を議員氏名として用いるものとする。

<地方議会の例>

新潟県議会議員旧姓使用取扱要綱

平成11年5月26日議会運営委員会制定

（趣旨）
第1条 この要綱は新潟県議会議員（以下「議員」という。）が戸籍上の氏に代えて、旧姓を議会活動に使用する場合の取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

（旧姓）
第2条 この要綱における旧姓とは、婚姻、養子縁組その他の事由（以下「婚姻等」という。）により、氏を改めた者の婚姻等の前の戸籍上の氏をいう。

（承認）
第3条 議員は、議長の承認を受けたときは、別表に掲げる事項を除き、旧姓を使用することができるものとする。

（承認の申請）
第4条 議員は、前条の承認を受けようとするときは、旧姓使用承認申請書（様式第1号）を議長に提出しなければならない。

（承認の通知）
第5条 議長は、旧姓の使用を承認したときは、旧姓使用承認通知書（様式第2号）により、当該議員に通知するものとする。

（中止届）
第6条 議長の承認を受けて旧姓を使用している議員が、その使用を中止しようとするときは、旧姓使用中止届（様式第3号）を議長に提出しなければならない。

（報告）
第7条 議長は、旧姓の使用を承認したとき又は旧姓使用中止届を受理したときは、議会運営委員会に報告するものとする。

（責務）
第8条 旧姓を使用する議員は、旧姓を使用するに当たっては、議会活動及びその関連する事務処理に誤解や混乱が生じないように努めなければならない。

（疑義の決定）
第9条 この要綱の疑義は、議長が決するものとする。

附則

（適用期日）
この要綱は、平成11年5月14日から適用する。

女性模擬議会の開催事例（平成31年～）

富山県南砺市議会【令和元年開催】～第11回南砺市女性議会～

【人口】（平成27年国調）51,327人 【議員】20人（うち女性議員1人） ※平成30年12月現在

- 平成21年度から始まった南砺市女性議会は、南砺市女性団体連絡協議会「さわやかネットワーク」が女性の視点から市政に対して提言を行い、女性リーダーの育成を目的に開催。
- 第11回目となる令和元年は、公募や各団体からの推薦で選ばれた14名の議員が総務文教・民生病院・産業建設の3つの常任委員会に分かれて市内施設の視察研修や現地学習などを実施し、11月13日の本会議では、女性議員からの市政一般に対する質問や、7月10日からの会期中に討議された各常任委員会の委員長報告が行われた。
一般質問では、6名の女性議員から市長及び教育長に対し、①運転免許証の自主返納、②企業誘致、③防災意識の向上、④在宅医療や介護支援、⑤インフラ整備、⑥子育てなど各委員会毎に話し合った内容について質問や提言を行った。



（6名の女性議員が質問）

※南砺市HPを元に作成

香川県まんのう町議会【平成31年開催】～第10回まんのう町女性議会～

【人口】（平成27年国調）18,377人 【議員】16人（うち女性議員2人） ※平成30年12月現在

- 女性ならではの視点から将来のまちづくりや福祉、教育、子育て、環境などの質問をすることで、女性が自分の意見を発表し、町政に参画する機会を創出するとともに、魅力あるまちづくりの推進、男女共同参画社会の実現に向けた人材発掘や女性団体等のネットワークづくり、さらに女性に町政への関心と理解を深めてもらうこと、女性の声や意見を町政に生かしていくことを目的として、平成21年度から開催。
- 第10回目となる平成31年は1月13日に開催し、町の男女共同参画推進員が議長を務め、傍聴者46名が見守る中、町内各公民館運営審議委員会及び小中学校PTAの推薦により選ばれた13名の女性議員が、①避難所指定となっている体育館等のエアコン設置、②町営カフェの設置、③農業後継者対策等、④満濃池（※国指定名勝）周辺を活用した取組、⑤災害防止のための河川内の木竹の除去などについて町長及び教育長に対して質問を行った。



（当日の様子）

※まんのう町提供資料を元に作成

女性模擬議会の開催状況について（平成26年～平成30年）

○ 女性模擬議会は、各地方議会において、女性の視点から住民の声を反映させることや、地域における女性リーダーを育成する等の目的で開催されており、市町村を中心に裾野が広がっている。

市

【出典】全国市議会議長会「市議会の活動に関する実態調査結果等」
※下線は表中の初出年

開催年	開催団体数	開催団体名
平成26年	6団体	①岩手県北上市 ②富山県砺波市 ③富山県南砺市 ④静岡県島田市 ⑤岡山県玉野市 ⑥沖縄県糸満市
平成27年	9団体	①富山県小矢部市 ②富山県南砺市 ③石川県加賀市 ④山梨県韮崎市 ⑤山梨県南アルプス市 ⑥埼玉県久喜市 ⑦静岡県島田市 ⑧愛知県新城市 ⑨島根県浜田市
平成28年	9団体	①富山県氷見市 ②富山県黒部市 ③富山県砺波市 ④富山県南砺市 ⑤石川県加賀市 ⑥茨城県水戸市 ⑦静岡県島田市 ⑧愛知県新城市 ⑨岐阜県可児市
平成29年	9団体	①岩手県北上市 ②富山県小矢部市 ③富山県南砺市 ④山梨県南アルプス市 ⑤茨城県取手市 ⑥埼玉県久喜市 ⑦静岡県島田市 ⑧愛知県新城市 ⑨滋賀県大津市
平成30年	9団体	①富山県黒部市 ②富山県砺波市 ③富山県南砺市 ④山梨県韮崎市 ⑤千葉県印西市 ⑥静岡県島田市 ⑦愛知県西尾市 ⑧愛知県犬山市 ⑨愛知県新城市
延べ実績	42団体	
純団体数	22団体	

町村

【出典】全国町村議会議長会「町村議会実態調査」
※下線は表中の初出年

開催年	開催団体数	開催団体名
平成26年	7団体	①北海道由仁町 ②福島県川内村 ③栃木県市貝町 ④富山県入善町 ⑤山梨県富士川町 ⑥長野県軽井沢町 ⑦香川県まんのう町
平成27年	5団体	①山形県川西町 ②埼玉県長瀨町 ③富山県入善町 ④愛知県美浜町 ⑤香川県まんのう町
平成28年	6団体	①北海道大空町 ②秋田県羽後町 ③富山県入善町 ④愛知県美浜町 ⑤香川県まんのう町 ⑥鹿児島県宇検村
平成29年	3団体	①山梨県丹波山村 ②長野県小海町 ③香川県まんのう町
平成30年	3団体	①岩手県住田町 ②長野県南箕輪村 ③香川県まんのう町
延べ実績	24団体	
純団体数	17団体	

※都道府県においては、直近の調査時点である平成25年7月～平成29年6月の間で開催実績なし（全国都道府県議会議長会「都道府県議会運営における事例調」）